

防災について

*本園は2011年3月11日の東日本大震災で津波被害を受けています。

東日本大震災での教訓と、本園の立地を鑑みても「避難行動」の重要性と、子どもたちを安全に避難させることの使命を再認識すると共に、園と保護者さんとの間における「信頼」が最も重要視されることです。

以下のように地震や津波警報で避難の仕方が変わりますので周知徹底をお願い致します。

① 東日本大震災クラスの地震・津波警報発令

全園児、職員の車に乗せ5分以内に保育園を出発する訓練を行っています。

交通の状況にもよりますが、10分程度で「ケアプラザおおつち」（あかね会）さんへ避難誘導します。

*あかね会さんとは緊急時避難締結を交わしております。

保護者の皆さんに関しては、国道45号線等が全面通行止めになることから**警報解除になるまでは原則としてお迎えには来ない様、各自、身の安全の確保に徹底していただきますよう**お願い致します。小鏈方面にお仕事等でいらっしゃる方については直接あかね会さんへおいでいただき、園児の安全確保のお手伝い等でご協力をお願い致します。

② それ以外の津波注意報等の発令に関して

園児の安全を最優先にした後に、避難するか否かの判断を致します。一時的に避難する場合には徒歩で「生井沢」に避難することもあります。（生井沢仮設が無くなり一時的に避難する建物も無いので、**注意報の場合も津波到達予測時間によってはあかね会へ行くこととなります**）

③ 登園（保育）前の警報発令について

登園前に津波注意報や警報が発令された場合には「自宅待機」をお願い致します。また、周辺地区で「避難勧告」や「避難指示」が発令された場合には最寄りの避難場所や避難所に必ず避難行動を取るようにしましょう。（各自避難行動を取ることが「震災を忘れない」ことです）また、大雨や大雪等の警報でもお子さんの安全確保を優先し、保育中止の連絡をする場合もあります。

④ 警報が解除になった場合

解除になった際には周りの状況を確認した後、**30分経過してから保育を再開するか否かの決定**をします。

登園（保育）前の場合にはやむを得ず**休園する場合にのみ電話連絡**致します。

「連絡なし」の時には暗黙の了解で保育が再開したと判断して下さい。特に、避難先から戻る場合には、子どもたちの安全確保に徹するため、こちらからの連絡は出来かねます。

宜しくお願い致します。

*大雨・土砂災害警報による避難勧告及び指示発令の場合は「城山体育館」が避難所となります。

その他・

*登園途中（すでに保育園に到着している）に津波警報が発令された場合には、私たちと一緒に避難行動をとって下さい。

*津波注意報の場合には津波到達予測時間に従い保護者の方の判断で各自避難行動をとって下さるようお願い致します。（車両を使うか否かも保護者の方の判断に委ねることとします）

*Jアラートについては別紙をご覧ください。

■その他

・送迎時、駐車場での事故等にお気を付けください。お子さんから目を離さず、降園時には手をつなぎ、速やかに帰るようにしましょう。特に送迎時の車の多い時間帯にはお気を付け下さい。

*駐車場内での事故等について、園としての責任は負いかねますのでお互いに十分に気を付けましょう。また**死角となる場所に「駐禁」と示してあります。その場所には駐車はできません。ご注意ください。**

・住宅地内を通行しなければ送迎はできません。良くも悪くもすべて「こども園関係者が」と言われてしまうので、送迎時には徐行運転で通行するようにしましょう。（20 km程度で。）

* 避難の方法及び保護者への引渡しについて

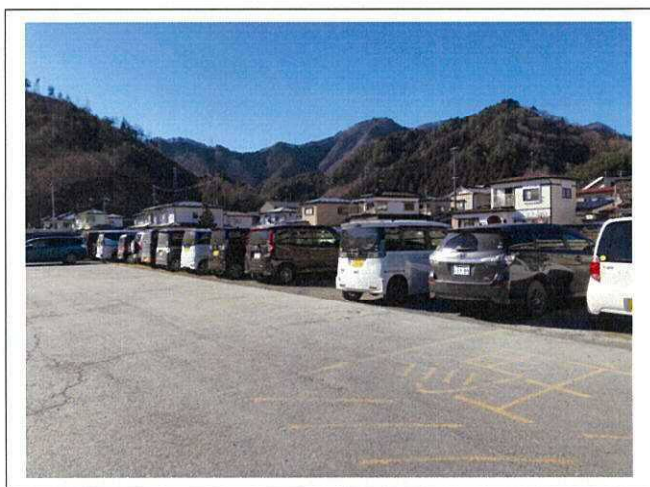
2011年3月11日の東日本大震災以降、当園ではこの花輪田地区に戻るにあたり、避難訓練そのものの見直しを幾度も重ね、全スタッフが知恵を出し合い「子どもたち全員の命を守る！」ことに常に真摯に受け止め訓練を重ねてきました。

先日（2021. 2. 13 深夜、2021. 3. 20 夜間）も大きな地震がありました。そして、この北海道・東北エリアでは30年以内にマグニチュード8クラスの地震が90%の確率で起こると言われています。

震災時以前も、宮城県沖や三陸沖での地震が99.9%の確率で起こると言われていました。通常の避難訓練の他に、誰にも告げないシークレット避難訓練も2011. 1月と2月に丁度行っていた矢先の3. 11でした。

当時は「保護者さんへ引渡しを行えば安心」という概念がありましたが、ご存知の通り、引渡しを行うことで途中で被災してしまうというリスクを背負うこととなります。

当園では協議を重ねた結果、津波警報等の緊急時は国道が通行止めになることから、「**保護者さんへの引渡しは一切しない**」こととなっています。



* スタッフ車輛は常に「ケアプザ おおつち」を向いて駐車しています。

* 駐車場には以上児(3歳児～5歳児)がわかりやすい様に番号がついています。

* 緊急避難時では、子どもたちはスタッフの車輛に分乗し、「ケアプザ おおつち」まで走るようになっていきます。訓練の経過を詳しくお知らせします。

* 新年度4月⇒ チムこいぬ・こぐま・おおぐま
ひとりひとりの子どもを援助する担当を決めて乗車名簿作成
チムわし・はくちょう・オリオン
自分がどの車に乗車すれば良いのかを知ること及び乗車名簿作成
「津波避難」のサイレンからタイムを計り5分以内に発車できる様に訓練

* 10月以降⇒ チムこいぬ・こぐま・おおぐま
発達に合わせた（歩く・走る・つかまる等）避難方法に切り替え
チムわし・はくちょう・オリオン
速やかに自分が乗る車に走り乗車することが出来るようになる

* 1年を通して避難訓練の精度があがる様にスタッフが訓練ごとの反省点を出し改善点があれば都度変更しています。

* 最終的には早い段階で、公道の渋滞が始まる前の5分以内に全車発進出来るようになります。

以上の様に、緊急避難時には想定外のことが数多く起こりうるので、保護者さんはまずは自身の身の安全を確保し、**警報解除された時に必ずお子さんを迎えにいらして下さいね。**

(注) 土砂災害警報時は事前に「避難準備情報」が出ますので、お迎えが必要と判断された時には園から連絡した時のみ、お迎えをお願い致します。